日刊建設産業新聞
2009年（平成21年）3月13日（金曜日）

NPOらがシンポ
ハイソ社製ソフト普及へ
首都圏販路開拓など支援狙い

住宅建設の履歴管理と維持保全システムで08年度国土交通省「超長期住宅先導的モデル事業」の採択を受けた住宅維持保全・流通情報研究コンソーシアム（代表＝小野寿光HI-SO〈ハイソ〉社長）とNPO法人ヴィエムジイ（猪狩惇夫理事長）が主催する「サステナブル社会の建築を考える」シンポジウムが12日、横浜市戸塚区の男女共同参画センター横浜フォーラムで開かれた。

冒頭、主催者を代表して挨拶した猪狩理事長は、「幅広い人脈を持つシニアがネットワークを組み中小企業の支援活動を進めている」と同法人の活動内容を紹介するとともに、「今回は東北経済産業局などが実施しているBuy・ベンチャー東北事業に賛同し、首都圏に販路を開くための広報戦略に重点を置き支援活動を行っている」などと語り、「住宅に履歴書をという観点から、新しいシステムを関係事業者に周知していく」考えを強調した。また、コンソーシアムの小野代表は、新しいビル管理ソフトの開発経緯などについて触れ、「住宅履歴と診断結果を記録に取り込むことで、サステナブル社会を築くための基礎とすることを狙いに製品化した」と語った。

吉野博光東北大学大学院教授が『サステナブル社会の環境と建築』と題して基調講演。続いて『200年住宅普及と必要な建築管理と経済の仕組み』と題したパネルディスカッションが行われた。コーディネーターはコンソーシアムの渋谷尚氏（建築士）が務め、パネラーとして山口義行立教大学教授、伊香賀俊治慶應大学教授、建築士の武山倫氏、楢橋康英国土交通省専門官の4人が参加した。

パネルディスカッションのもよう

ハイソ社の「eビルカルテ・エコノミー」は、経済産業省「新連携」事業で実現した、建築物維持保全を新発想で捉えた画像データベースソフト。さらにその発展形となった「e家カルテ・エコノミー」システムは、国土交通省「超長期住宅先導的モデル事業（維持管理・流通等のシステムの整備部門）」で採択を受けている。要求するモデル事業指針の8～9割をすでに事業化しており、産学連携のコンソーシアムを形成し、ベターリビングの指導のもと、実践検証の評価を受けている。

同システムが提案する先導的な提案は、①超長期住宅1棟ごとに、重要部分部材や施工の情報、維持保全情報、改修情報などを同システムのデータベース（DB）に構築し、長期間にわたって管理・維持する仕組み、②第三者機関の履歴情報サービス機関によって情報が担保されること、③定期点検時期の自動アラームが発信されること―の3点が挙げられる。

住宅履歴情報は、HI-SO社製のe家カルテ・エコノミーによって蓄積され、図面・写真・文書の相互関連が「見える化」されたDBの形で住宅所有者、情報生成者、情報サービス機関に保管され、互いに情報維持を担保しながら超長期住宅維持保全のモデルを模擬的に作る仕掛け。

建築主体業者と工務店、設計事務所などが履歴情報を作成し、住宅所有者にe家カルテ・エコノミーを提供。同時に情報の情報サービス機関を模したコンソーシアム構成員の設計事務所が管理するサーバにバックアップデータを置き同期させる。住宅履歴の管理は、超長期住宅の定期的な保守点検時期に所有者と施工者にアラームを発信し、確実な情報保全と対応の安心感を生み普及と流通に寄与する。

、建物高さが従来の31㍍からほぼ2倍となる60㍍に適用範囲を大幅に拡大して一般評定を更新した。工事の省略化・短工期などのほか、柱を細くできる有効活用のメリットが生まれ、今後、高層の事務所に向けた営業展開を進めていく。

……る実績を重ねてきた。

主な特徴（既評定と共通）は、RC柱の柱頭（梁下）および柱脚（梁上）の外周を100㍉程度の幅の鉄骨製バンドプレートで拘束（特許取得済み）して、高い耐震性能を確保している。

更に、柱SRC造と比較して40％省力化、および25％の工期短縮、S造やSRC造と比較して10～20％のコストダウン、ブレース、耐震壁などと組み合わせて優れた耐震性能の付与が可能といった、様々な特徴を備えている。

……いオフサイトステーションも検討されている。

水素製造装置、水素コンプレッサー、水素ディスペンサー、水素センサ、高圧水素バルブ、水素パイプラインといった水素ステーション構成機器市場に関しては、08年度見込み6億円、20年度予測で223億円となっている。

水素製造装置がメインとなり、20年度には08年の76倍の138億円と予測される。水素コンプレッサーが52億円（同33倍）、水素ディスペンサーが21億円（同11倍）と続く。水素ステーションの新設と大型化に伴い、水素ステーション構成機器の市場も拡大をみせる。

なお、調査結果は、「2008年版 燃料電池関連技術・市場の将来展望 下巻」としてまとめており、10万1850円（税込）で販売している。

通風機能装備の片開きドア
YKK AP

YKK AP（東京都千代田区、吉田忠裕社長）は、アルミインテリア建材「スクリーン・パーティション・片開きドア」に、扉本体に通風機能を装備し、ドアそのものが風の通り道となる「Tデザイン（扉本体通風機能付新デザイン）」を4月1日から発売する。

扉を閉めた状態でプライベート性を確保しながらも、心地よい風が通り抜ける扉本体の通風機能が特徴。戸先のスリット採光部をスライドさせる……通風効果が期待できる。

アルミカラーはピアマットシルバー・シルキーホワイト・ブラック（艶なし）の3色。枠の仕様は、手元で簡単に開閉操作が行える業界初のルーバー式通風機能付アルミ枠のほか、通風部なしアルミ枠、オーソドックスの3タイプを用意。

価格帯は13万円～23万625円（消費税込み、施工費別）。初年度販……

「ファインポートII」シリーズ4月発売
新日軽

路面表示用「ガイドマス……

コニシは、……